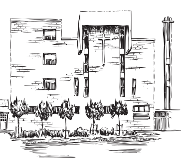
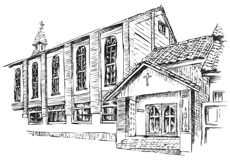
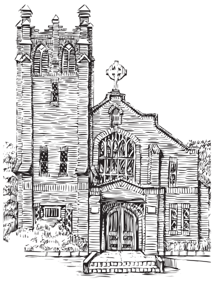
日本聖公会
大阪教区報


大阪城南キリスト教会

恵我之荘聖マタイ教会


大阪聖愛教会


主教座聖堂 川口基督教会

日本聖公会
大阪教区総務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
osakakoho2022@gmail.com
発行責任者
総務局長 司祭 金山将司

第525号 2025年6月20日発行

6月巻頭言に寄せて

司祭 バルナバ 永野拓也（ながのたくや）

4月からプール学院のチャプレンとして働かせていただいています、永野拓也と申します。生まれも育ちも神戸市で、大学時代は京都に住んでいました。そして卒業後は4年間、群馬県のキリスト教主義学校で働いておりました。しかし、神さまの導きと信徒さんのお祈りに支えられながらウイリアムス神学館で学びの時を経て、執事・司祭として按手されました。この3月までは、広島や呉の教会で司牧させていただいていました。広島ではこども園のチャプレンとしての働きもさせていただいていましたが、中高の教育現場は10年ぶりです。試行錯誤を繰り返す毎日ですが、生徒や教職員の皆さんとの出会いに感謝しながら日々を過ごしています。

これまでの人生において、近くには住んでいたものの接点のないように思っていた大阪。文字通り、右も左も分からない中で生活を始めていますが、それは教会生活も同じです。4月からいくつかの教会の主日礼拝にお伺いさせていただいていますが、初めての教会というのはやはり緊張するものです。先日とある教会に初めてお伺いした際、何名かの方が出迎えてくださったのですが、その中の一人の方とどうも初めてお会いした気がしませんでした。すると礼拝が終わった後、その方が声をかけてくださりました。そして、その方も「昨年お会いしませんでしたか」と仰られたのです。話をしてみると、昨年広島に来てくださって、教会にも寄ってくださった時に、お会いした方でした。まさか、大阪で再会するとは思っていませんでしたので、神さまは不思議な事をなさる方だと思わざるをえませんでした。しかしそれだけではありませんでした。「私の娘が広島に住んでいて、先生とお会いしたことがあると言っていました」という方がおられました。その方のお子様は、共通の友人を通して広島でお会いしたことのある方でした。また、「私の息子や孫たちは神戸教区の教会にいます」という方ともお会いしました。私が神戸教区で中高生のキャンプのチャプレンをしていた時に、大変お世話になった方の御家族ということが分かりました。まったく繋がりがないと思っていたのですが、実はたくさんの繋がりがあることに驚きと導きを感じながら、大阪教区での歩みを始めさせていただいています。

私たち聖公会は「教区の自立性」を大切にしています。その為、教区を越えることは、まったく違う歴史や背景の教会に飛び込むような気持ちがあると思います。一方で聖公会は、Anglican Communion（アングリカンコミュニオン）と言われるように「交わり」を大切にする教会です。コミュニオン（交わり）という時、物理的な「教会」「教区」「管区」という枠組みを超えて、私たちは「一つの家族」なのだという考えがあります。大阪の地に建てられた「教会」や「学校」で過ごすすべての方々と、神さまと共に歩む生活を送っていけることを嬉しく思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

（神戸教区司祭、プール学院中学校・高等学校チャプレン）
※大阪教区へ4月より出向中。

4月12日

バルナバ 小林聡(こばやしさとし) 主教 按手式

YouTubeで
動画配信中

4月12日大斎節第5週間の土曜日午前10時より、日本聖公会大阪教区の第9代教区主教按手式および就任式が当教区の主教座聖堂である川口基督教会を会場に行われた。日本聖公会の現職教区主教7人と韓国の議長主教をはじめとする3教区主教、台湾聖公会主教、ブラジルのサンパウロ教区主教代理など海外からのゲスト、エキュメニカルおよび他宗教関係者と社会団体代表者を含め約460人が出席された。

東北教区の長谷川(はせがわ)清純(きよすみ)主教は説教を通じて「一致の焦点としての主教の職務は、ローカルとグローバル視点をダイナミックにつなぐことです。主教は社会的関心、特に少数者と周辺化した人々の叫びを聞き、時には彼らの声のない声を代弁することで社会の中の象徴としてミッションを遂行します。」と強調した。大韓聖公会の朴東信議長主教は祝辞を通じて「主教の職務は長距離を走るマラソン競技と同じです。途中で座り込みたい時も出てきて、一歩踏み出す力さえない時もあります。そんな時、3回も転んで起き上がったイエス様の手を離さないでください。それで、この厳しいレースに一緒に仲間として参加していただいて、とても嬉しくて元気が出ます」とお祝いと歓迎の意を伝えた。

今回、第9代大阪教区主教に就任した小林聡主教（56歳）は、京都教区出身で、2019年に大阪教区に転入した後、聖パウロ教会牧師、聖贖主教会牧師兼社会福祉法人博愛社のチャプレンなどで働いてきた。管区の青年委員会委員長、教区常任委員長を歴任し、在日韓国人の差別と人権問題、パレスチナ問題などに積極的に参加している。小林主教は就任の辞を通じて「後回しにされた人々を最優先にし、異質的な要素を尊重する教会、神様と人々、世界と自然の声を傾聴する働き」を指向すると、今後の主教としての方向性を示した。

大阪教区は2024年3月の臨時教区議会に上程された「隣接教区との合併のために主教選出をせずに伝道教区に移行、管理主教下に5年間合併を準備」する議案が否決され、11月定期教区議会で主教選挙を実施した経緯がある。日本聖公会は2023年にアジアで初の女性司教を輩出し、今回の大阪教区主教の就任を皮切りに教区主教の世代交代時期を迎えている。九州教区が7月5日に主教按手式を行う予定で、神戸教区も年内に按手式を控えている（注：9月20日に行われる予定）。さらに、5年前から進められてきた東京教区と北関東教区の教区合併も、今年11月の定期教区議会を通じて確定する見通しだ。

司祭 ステパノ 柳(ゆ) 時京(しぎょん)
（教区常任委員長、
按手式準備委員長）

バルナバ小林聡主教の按手・就任式に寄せて

オネシモ朴(バク) 東信(ドンシン) 主教

ここにお集まりになった聖職者の皆様、信者の皆様、お隣の大韓聖公会を代表いたしまして、ご挨拶申し上げます。

近づいてくる復活大祝日を知らせるしるしが、私たちの周辺にたくさんあります。寒い冬を耐えて咲き始める春の数々の花々、そして満開の桜もその一つです。何より今日ささげられるバルナバ主教の按手式は、大阪教区と教会にとってイースターの明確なしるしでしょう。

私は主教の職務を始めたばかりの小林師にあえて「お祝い申し上げる」という言葉よりは、「嬉しい」という挨拶をしたいと思います。もちろん心の中で本当におめでとうございます。主教の職務は、長距離を走るマラソン競技と同じです。途中であきらめて座り込みたくなる時も出てきて、一歩を踏み出す力さえない時もあります。そのような時、3回も転がり起き上がられたイエス様の手を離さないでください。それで、この大変な競走に一緒に仲間として参加していただくことに、とても嬉しくて力が出ます。心から歓迎します。

11年前、この席にアンデレ磯晴久主教の按手式に参りました。もう退任されるアンデレ主教の退任をおめでとうございます。これまでのご尽力に感謝いたします。

バルナバ主教と奥様とは、東アジア聖公会協議会（CCEA）を通じてお会いしました。総会が開かれた大田(テジョン)教区の天安で、またマレーシア・サバ教区のコタキナバルで交際を交わすことができました。これから世界聖公会主教会の仲間としてお会い出来ますことになるので期待が大きいです。韓国語もお上手な主教様なので、会話を交わす際の負担が少ないです。これから新主教を通じて大阪教区だけでなく日韓聖公会がこの世界に主の光をもっと明るく照らすようになることを期待します。祈りの中で、より頻繁にお会いできるを望みます。

（大韓聖公会議長主教、
釜山教区主教）

大阪教区新主教誕生によせて

司祭 ジョイ 千松(せんまつ) 清美(きよみ)

神様のお導きのもとで、大阪教区主教按手式および主教就任式が行われましたこと感謝いたします。私は按手式において新主教のチャプレン・陪侍の役割を仰せつかりました。どのような役割かを把握せずに、幾人かの聖職者にどの部分で何をすればよいかを簡単に聞いただけで当日に臨みました。案の定、出ていくところを間違えたり、他の人の助けが必要だったりとまともに役割を果たせずに緊張と焦りのなか按手式は終わりました。しかし小林聡主教誕生の一瞬一瞬を間近で経験することができ、小林聡主教の緊張がひしひしと伝わりながらも、神様の権威と支配のもとにへりくだって主教の任命を受け取られるお姿に大変感動しましたし、神様に感謝と賛美を心からささげるときでした。按手式に特化した役割だった

としても陪侍は、〝君主・貴人のそばに仕えること〟と辞書にはありますので、大阪教区教役者の皆で新主教のもとで神様の御心に従っていきたいと願います。

主教按手式感想

ルデヤ　辻　節子

大阪教区に新しい主教が与えられましたことを、心から感謝いたします。

4月12日（土）の按手式当日は、晴天に恵まれ本当に幸運でした。予報では前日も翌日も雨マークがついており、受付を担当する教区婦人会にとっては、大変気のもめることでした。新主教はツイテおられると、どれほど安堵したことか！　また、この日は２０２５大阪万博の開会式とも重なり、市内の交通規制があるなど、４４０人を上回る来会者の足に少なからぬ影響がありました。さらにＪＲ京都線が一時ストップしたため、大幅に遅れて到着された方もあり、文字通り〝馳せ参じて〟来られた方々に見守られての按手式だったと思います。その中で、博愛社から参加してくださった多くの子どもたちと共に聖餐を受けることができたのは、大きな喜びでした。

台湾、韓国、ブラジルを含め、内外からの主教・司祭の一団がプロセッションのために聖堂入り口で整列されたシーンは、青空に映え、聖公会らしい典雅な光景で、この日が祝福に包まれていることを確信させるものでした。教区再編に向けた道筋の一環として選出された新主教のお働きが、これから豊かに展開していきますようにと祈らずにはおれません。

（大阪教区婦人会会長・石橋聖トマス教会信徒）

主教按手式

エステル　加納　佳世子

大阪教区は、皆さまのお祈りのうちに新しい主教が与えられたことを感謝致します。磯主教の退任にあわせて主教選挙を行うか、伝道教区を選択するか話し合いを重ねてきました。大阪教区はどこに向かうのか、かたり場や教区会で話し合いは、今後の大阪教区にとって大切な時間だったと思います。

主教按手式は晴天に恵まれ、和やかな雰囲気のなかで執り行われました。他教区、他宗派、関係団体及び、ゆかりのある韓国聖公会、台湾聖公会、ブラジル聖公会と海外からもご参列いただき、聖公会はあらためて地域に世界につながっていると感じました。

小林主教の希望は、子ども達と共に主教按手式を迎えたいとのことで、子ども達が聖書朗読を担当し、たくさんの子ども達の見守るなかで按手されました。荘厳な中で行われた主教按手式、大阪教区主教就任式でしたが、退堂される時の小林主教の笑顔は皆さんの記憶に残っていると思います。按手式の準備をするにあたり、たくさんの方々のお働きがあったこと感謝致します。多くの課題をかかえる大阪教区ですが、新主教のもとで新しい歩みが始まること期待しています。

（常置委員、大阪聖アンデレ教会信徒）

「教役者対象 春の黙想会」報告

司祭 ヨハネ　古澤　秀利

去る3月26日（水）午後1時から4時半まで西宮聖ペテロ教会において大阪教区聖職養成委員会主催「教役者対象 春の黙想会」が開催され、8人が参加しました。関西学院大学元教授の窪寺俊之先生が講師を務め、「自分を見つめる」と「私の召命感」についてそれぞれ講話とそれに続く黙想の指導を行なってくださいました。窪寺先生は講話の中で「自分を見つめる」ことの必要性をそして「私の召命感」について以下のように述べられました。

牧会者が伝えようとする福音は、当然のことながらその牧会者を通して傷ついてる人、病気を患う人、傷つく家族を持つ人、不安を抱える人などに伝えられます。しかし、牧会者自身もその生育歴を通して傷つき不安を抱え迷いを自身の課題として持っており、牧会者が自分の課題に気づいていなければ、福音を伝えようとする相手を傷つけてしまう可能性があります。そのため、自分を見つめ問い直す機会が必要です。それは課題を克服し無くしていくことではなく、自分にはこのような課題があると認識することです。

そして自分を見つめることの延長線上に「私の召命感」を再確認します。牧会者が遣わされた先にいる人の心を聴き、その人が何に傷つき不安を感じているか等その人の声が聞こえたとき、牧会者は伝えるべきことが少し見えてきます。同時にこのような私、つまり自分を見つめ直した際に見えてきた私を、牧会者として用いてくださっている神の愛と赦しに出会います。それは牧会者が当初感じていた召命感を変化させる経験となります。

今報告では窪寺先生がお話しくださったことの概略しかお伝えできませんが、先生がご自身の課題・弱さを交えてお話しくださったことで、私も自分自身の課題に向き合うよう努めながら黙想の時間を過ごすことができたと感じています。それはとても心が解放される時間であったと記憶しています。このような機会を作ってくださった聖職養成委員会の皆さま、そして窪寺先生に心から感謝申しあげます。

（大阪聖愛教会牧師）

キッズフェスティバル2025
～光の子としてあゆみなさい～

マルタ　井上　るみ子

4月29日（火）川口基督教会にて、参加者116（こども47＋おとな69）人で開催されました。テーマは『光の子として歩みなさい』（エフェソ5：8）でした。神様を信じる参加者全員に「みんなは、すでに光の子なんだよ！」を知ってもらいたい、一人ひとりがこのみ言葉を体感し、心と身体にしみこませて欲しいと、6ヵ所のコーナーをスタッフが考え導かれて、1年かけて準備しました。

コーナー1は、光のトンネルをくぐり光の子を探しました。なかなか見つかりませんが、最後の布をめくると鏡があり、自分を見ることができ「わたしが、光の子なんだ」と、分かりました。コーナー2は、光のメダルを作り、自分の足跡を描きました。コーナー3は、聖書を読んで『光の子』について考え、分かち合いをしました。コーナー4は、風船を繋げ、光の輪を作り遊びました。コーナー5は、ブラックライトを使って、『なふだのうら』というメッセージを見つけ、自分の名札の裏にライトを当てると「あなたは、ひかりのこです」と、書いてありました。コーナー6は、デスクベルで、聖歌〝くらやみゆくときには〟を合奏しました。

閉会礼拝では、3階のホールを真っ暗にし、コーナー2で作ったメダルを首にかけて集まりました。礼拝で「みんなは、光の子なんだよ」とメッセージが語られる中で、一人ひとりの名前が呼ばれ、首にかけたメダルのスイッチを入れると、参加者全員が『光の子』になりました。またコープを着て、光メダルを付けた主教の杖をもって現れた小林聡主教のお話もありました。そして、ホールを出て降りて行く階段には、コーナー2で描いたみんなの足跡がライトに照らされていました。『光の子として歩みなさい』のみ言葉を、各々が心に刻み込めた日となりました。み恵みに溢れた日を過ごすことができたことを、神様に感謝します。ご協力いただいたみなさま、有難うございました。

（芦屋聖マルコ教会信徒）

能登半島地震ボランティア

アンデレ　大塚　博

ハレルヤ

ボランティアの目的地である羽咋市での集合時間が早いため、当日未明に車で大阪を出発しました。

車で行く理由は、まず宿の心配がない。そして現地での移動、瓦礫の撤去、倒壊した家屋から仮設へ家具移動など、前回の東北でのボランティアで役立った経験があったからです。私の本業は運送業ですので、羽咋に向かう途中も「安全に！安全に！」と現役の頃を思い出しながらハンドルを握りました。

宿泊地の羽咋から珠洲に向かうまでの道中は、地震後一年余り経過しているというのに、まだまだ復興している様には見受けられず、道路は陥没、崖から転落している車、折れ曲がったままの電信柱を横目に見ながら、心は辛い思いで一杯でした

ボランティアの5日間、行程のうち、作業は3日間。想像していた作業内容とは違いましたが、なんと私達の作業の微力なこと。もっと応援の手を繋げて行く必要があると痛感しました。

今年81歳になりますが、まだ体力はあると思っていますので、更なるボランティアを続けていきたいと思います。

「ボランティアに定年はない！」と心に決め、神の道日を願いながら

（川口基督教会信徒）

公　示

救主降生 2025 年 5 月 28 日
日本聖公会大阪教区　教区主教
主教　バルナバ　小林　聡

司祭　ステパノ　柳　時京
5 月 31 日付　総務局長の任を解く。

司祭　ペテロ　金山　将司
6 月 1 日付　総務局長に任命する。

ヨハネ　太田　幸彦
5 月 31 日付　教区事務所主事の任を解く。

イサク　寒河江　研司
5 月 31 日付　財政局長の任を解く。
6 月 1 日付　教区事務所主事に任命する。

司祭　ジョイ　千松　清美
6 月 1 日付　財政局長に任命する。

【三「い」一体 〜いのち 彩る 祈り〜】改正祈祷書への招き
ALNEA（聖公会東アジア礼拝協議会）による感謝聖餐祈祷

司祭　フランチェスコ　成岡　宏晃

今回は、「感謝聖餐式」の試用版式文中にある「感謝聖餐祈祷C」をご紹介いたします。現行祈祷書では「感謝聖別」とされている聖餐式のもっとも重要な祈りについて、今回の改正では「多彩性」を大切に、またできるだけさまざまな「文脈（コンテキスト）」においてより深く聖餐を分かち合えるように「多彩な」感謝聖餐祈祷文が用いられることを目指しています。

その中でも、「感謝聖餐祈祷C」はALNEA（聖公会東アジア礼拝協議会）のメンバー（フィリピン聖公会、香港聖公会、台湾教区、大韓聖公会、日本聖公会）によって、「東アジアという文脈」における聖餐は何を現わすのかを分かち合う祈祷文となっています。

2023年2月に台湾で開催されたALNEAの総会において「東アジアの文脈における感謝聖別文の必要性と課題について」、「東アジアの各管区における聖公会祈祷書の歴史・発展について」のワークショップが行われました。そこでは創造、受肉、贖い、救済、和解といった神学的なテーマを自分が置かれている状況においてどのようにとらえ、どのように説明するか、また、自分たちの言語ではこれらのテーマには本来どのような意味が込められているのかといったことが一つ一つ丁寧に掘り下げられ、分かち合われました。その大きな成果が、「感謝聖餐祈祷C」であると言えます。その一部を掲載いたします。

・・・しかし、「放蕩の子」であるわたしたちは、あなたの創造の秩序に背き、数えきれぬほどの争いや悲しみの原因となりました。これらすべてが、地球を悲劇の地とし、あなたの喜びの物語を悲しみと怒りの物語へと変えてしまいました。

それでもなお、慈しみ深い神は、子であるわたしたちがあなたの元に戻ってくるのを待ち続けておられます。イエスが罪人たちとともに食べ、飲み、迷える羊たちを群れの中に連れ戻されたように、あなたはわたしたちをも食卓に招かれます。そして、主の模範に倣い、食事をもてなす心を通して、人々を歓迎し、互いに和解するようにと、わたしたちに教えられます」・・・

（祈祷文の全文は、ホームページよりご覧いただけます）

私たちが生きる「文脈」において、より深く、またより多彩な形で主イエスの臨在と主の食卓の喜びを分かち合える祈祷文を共に作り上げるために、各所での「試用」と祈祷書改正委員会へのフィードバックを、今後ともよろしくお願いいたします。

（芦屋聖マルコ教会牧師）

司祭の書棚から

帚木蓬生 著
「ネガティブ・ケイパビリティ〜答えの出ない事態に耐える力」

司祭　ペテロ　竹林　徑一

生成AIのチャットGPTが話題を呼んだのは、時間や労力の無駄を極力減らし要領よく結論や結果を得たいという現代人の求めに最適手段だったからです。作家で精神科医の帚木蓬生氏は、そんな風潮に警鐘を鳴らし、性急・拙速に事実や証明、理由と理解を求めずに、不確実さや不思議さ、懐疑をそのまま持ち続ける力・態度（ネイティブ・ケイパビリティ、以後N．C．と略）の大切さを誠実に説いています。

それはパウロとバルナバが、「弟子たちの精神を強め、信仰に留まるようにと呼びかけ、また、我々は多くの患難を通ってこそ神の国へと入ることができるのだ、と述べた」（使徒言行録14：22、田川建三訳）様子と重なり合うものがあります。

精神科医で診療所長の帚木氏には、毎日多くの受診者があり、治療とも身の上相談ともつかない千差万別の事例の連続です。解決法が見つからず、手の付け所のない悩みを聴いて痛んだ心を受け止め、耐え続けるケア（トリートメント）程度しか出来ません。症状の診断と、早く適切な治療法をいかに早く引き出すかとの問題解決能力が問われる一般の医学とは正反対の位置にある精神医学の、苦しむ患者との接し方の基には、創造的活動をする詩人や文学者、芸術家の営み・創造行為と非常に共通する働き、すなわちN．C．の支えがあるとの見解が展開されています。

そして、そのN．C．を最大限発揮して歴史上最も偉大な文学作品を残したのが、シェイクスピアと紫式部だというのです。無数の人間群像が描かれている旧・新約聖書を読み解くにあたっても、現代日本の教育問題にとっても、大いに役立つ視点をこのN．C．は、そして彼の多くの小説は、提供してくれているように思います。

（大阪教区退職司祭）

【常】【置】【委】【員】【会】【報】【告】

4/30 第6回（定例）

Ⅰ．諸報告および議事

• 主教から、予定と報告・人事に関すること・宣教プラン（管区との連動、教会間協働と合併、戦後80年メッセージ、教役者の休暇確保、セーフチャーチ、その他）について見解が示され、意見交換した。

• 主教按手・就任式準備委員会からの実施及び決算の報告を承認し、同委員会の解散を承認した。

• 各局報告として、宣教局より「キッズフェスティバルの報告」を受けた。

• 本年度の教区礼拝について、11月30日(日)11時から、プール学院清心館に於て行うことを決定した。司式・説教は小林主教、式典長は永野司祭、副式典長は義平司祭、実行委員長は成岡司祭（宣教局長）とすることとした。

• 事業委員会について、改めて委員を選任した上でスタートさせることとした。

• 3月度会計報告について、とくに「大幅な人事異動による教区分担金への影響を鑑みた補正予算」および「各教会牧会補助金申請額の9割のみを承認し、残額については再度精査する」ことを含んで承認した。

• その他として、「英語礼拝の実施方法」、「聖職候補生の勤務状況」等について意見交換した。

以上

洗礼・初陪餐

川口基督教会（5月4日）
エリザベツ　平太(ひらた)　絹代(きぬよ)
施洗者　ヨハネ　平太(ひらた)　類(るい)

受洗・初陪餐

大阪聖愛教会（4月20日）
リディア　朱(しゅ)　勤(きん)

逝去者

大阪城南キリスト教会
マリヤ　井出(いで)　吉志子(よしこ)（4月13日・90歳）

尼崎聖ステパノ教会
中北(なかきた)　史朗(しろう)（3月24日・78歳）
スザンナ　小林(こばやし)　静江(しずえ)（4月15日・93歳）

堺聖テモテ教会
マタイ　高良(たから)　誠徳(せいとく)（3月27日・80歳）
ルツ　玉井(たまい)　不二子(ふじこ)（4月8日・102歳）

大阪聖ヨハネ教会
浅沼(あさぬま)　耕一(こういち)（3月11日・72歳）

魂の平安をお祈りします

大阪教区関係教役者レクイエム

毎月第２水曜日　川口基督教会

７月９日（木）　10：30～

説教者：金山　将司　司祭

１日　司祭　ウオルター・Ｊ・エドモンズ（1889英）
　　　伝道師　野村(のむら)　志津(しず)（1997）
５日　宣教師　エリザベス・メータ・ソフィー・ヒューボルト（1934英）
９日　伝道師　フィベ　山上(やまがみ)　操(みさお)（2014）
12日　主教　パウロ　久保渕(くぼふち)　豊彦(とよひこ)（2006）
14日　主教　アーサー・ウイリアム・プール（1885英）
15日　宣教師　オクタビア・ジュリアス（1942英）
20日　宣教師　エミリー・サンドル・フォックス（1942英）
　　　司祭　ヨハネ　木川田(きかわだ)　正毅(しょうき)（1990）
21日　司祭　堀江(ほりえ)　議作(ぎさく)（1928）
　　　執事　永田(ながた)　保治郎(やすじろう)（1941）
22日　司祭　イサク　木川田(きかわだ)　満(みつる)（2018）
23日　伝道師　中村(なかむら)　貞子(さだこ)（1953）
　　　宣教師　エセル・アグネス・カーライル（1957英）
24日　司祭　西田(にしだ)　弥吉(やきち)（1945）
　　　宣教師　ジェーン・アン・スタベリー（1963英）
25日　司祭　サムエル　堀江(ほりえ)　光児(こうじ)（1990）
28日　主教　マルコ　小池(こいけ)　俊男(としお)（2011）
29日　宣教師　ロレッタ・レオナルド・ショウ（1940カナダ）

８月13日（水）　10：30～

説教者：成岡　宏晃　司祭

５日　主教　エドワード・ビカステス（1897英）
８日　主教　ヘンリー・セントジョージ・タッカー（1959米）
９日　宣教師　アグネス・Ｓ・ウィリアムス（1970英）
10日　司祭　ヨハネ　桜井(さくらい)　猶次郎(なおじろう)（1945）
　　　主教　ペテロ　藤本(ふじもと)　寿作(じゅさく)（1969）
11日　宣教師　シルビア・ルイス・ケンドール・ブッシュ（1966英）
18日　司祭　関(せき)　翔(たすく)（1953）
24日　宣教師　キャサリン・アリス・サルヴィン・トリストラム（1948英）
30日　伝道師　ルツ　中村(なかむら)　光尾(みつお)（1978）

お詫びと訂正

○524号
誤　パウロ教会　小池　宣郎
正　芦屋聖マルコ教会
お詫びして、訂正いたします。